

IHヒーター導入企業様取材レポート

小倉屋・伊藤隆夫様（東京都台東区・オーナー様）

今回の取材は、8月に開催されました賃貸住宅フェア2009で、HEATECブースにご来場されました賃貸マンションのオーナー様にお話を伺いました。賃貸経営のほかアートギャラリースペースの運営をされており、賃貸物件ではいち早くIHヒーターの導入にも取り組まれています。

物件・事務所周辺には東京藝術大学や国立博物館があり、緑が多くとても閑静なところです。

賃貸住宅フェア来場の目的は

今回は日経新聞の展示会情報で来場した。IHヒーターなどの最新設備機器はもちろんのこと、リフォームや保証などの最新情報を得ることが目的。毎年来場しているわけではないが、他の住宅関係の展示会にも積極的に訪問し、様々な情報の収集を心がけている。

賃貸経営で念頭においていることは

入居者様の立場に立った賃貸経営を念頭においていれば、設備やリフォームの情報には当然敏感になるものだ。古くなった設備の交換はもちろん、キッチンやユニットバスなどの大型交換もオーナー側の義務として考えなければ賃貸経営は成り立たない。賃貸運営では「新品に勝るものはない」と考えている。

業界への要望など

昨年、電気ヒーターメーカーのリコール・倒産があったが、大きな問題点が露呈されたと考えている。まず、我々オーナー側に対しての情報伝達が全く無かったこと。一部では管財人からの連絡があったようだが、販売側では販売先を分かっているはずなのに情報提供をためらっていた感があった。

また、リコール品への対応についての費用負担もすべてオーナー側に求められ、予定外の出費で大きな負担を被ったオーナーも多数いたはずだ。

供給側と需要側双方で、このような事態に備えて「保証基金」等を設立して万が一に備えるなど今後の業界のシステム向上に期待したい。



有形文化財指定のアートギャラリー



モダンなデザインの賃貸物件